

1. まず、候補予定者ご自身についてお伺いいたします。

①なぜ、松戸市議会議員選挙に立候補されるのですか。

一人一人がかげがえのない個人として尊重され、多様性を認めつつ互いに支え合い、すべての人に居場所と出番がある、強くてしなやかな共に生きる社会をつくりたいからです。

②当選したら真っ先に取り組むことを教えてください。

1. トイレ政策

(1) 松戸市立小中学校校舎・体育館トイレの洋式化推進

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11734659663.html>

(2) 千葉県立高校・体育館トイレの洋式化推進

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11935049985.html>

(3) スポーツ施設トイレの洋式化推進

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11891537212.html>

(4) 市民センター等トイレの洋式化推進

(5) スポーツイベント時における仮設トイレの増設

2. 交通政策

(1) 千代田線下り電車「綾瀬止まり」解消

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11908953624.html>

(2) 馬橋駅東口正面通りにおける歩行者の安全対策

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11924386709.html>

(3) 通学路における安全対策

(4) 歩道整備の推進

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11283929700.html>

(4) 松戸駅におけるホームドア設置

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11922992210.html>

(5) 松戸駅と羽田空港を結ぶ直行バスの創設
詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11946491669.html>

(6) ノンステップバスの導入促進

3. 松戸駅・新松戸駅におけるさらなる分煙の推進

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11947267240.html>

4. 動物愛護推進政策

(1) 災害時におけるペットの同行避難

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11947264684.html>

(2) 飼い主のいない猫に対する不妊・去勢事業の推進

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11932687214.html>

5. 防災

(1) 土砂災害警戒区域に指定されている上本郷第二小学校体育館の安全対策

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11912763838.html>

(2) つり天井公共施設の安全対策推進

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11928954177.html>

5. 福祉政策

(1) テレビ電話を活用した代理電話サービスの導入

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11922971741.html>

(2) 日本オストミー協会が推奨する可動式オストメイトトイレの普及・充実

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11918445385.html>

(3) 多機能トイレの機能分散

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11946956769.html>

6. 放置自転車解消

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11716578254.html>

7. 議員の賛否公開

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11431161256.html>

8. 選挙公報の継続的なweb掲載

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11874671784.html>

9. 待機児童解消

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11885266384.html>

10. 教育

(1) いじめ防止対策

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11785304972.html>

(2) 教育のICT化を推進

11. 医療

(1) 市立病院の移転立替推進及び病院経営の改善

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11941764906.html>

(2) 電子端末を活用した救急の見える化

詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11880964427.html>

③ 4年間の任期中に必ず実現させたいことを教えてください。

1. 学校トイレの洋式化推進

一般家庭のトイレの99%が洋式トイレの時代なのに松戸市の学校トイレは、古い和式が67%で洋式は33%だけです。3つの理由から強力に洋式化を進めます。①子どもたちが学校でトイレを我慢しないで明るく楽しく健康的に学校生活を送れる。②災害時に避難所となる地域の学校トイレが和式だけだと、高齢者・障がい者が使いづらい。③和式よりも圧倒的に節水で、税金で支払う学校の水道料金を約1/3に節約できる。

2. 千代田線下り電車「綾瀬止まり」解消

平日の千代田線下り電車のうち、3本に1本が「綾瀬止まり」です。「綾瀬止まり」のために、次の電車を待つことなく、直通電車で松戸方面へスムーズに帰れるように「綾瀬止まり」解消にむけて力を尽くします。

④当選された場合、どちらの会派に所属するのか、または無所属で活動されるのか、意思をお聞かせください。

民主党会派です。無所属では、国、県を動かさなければできない課題は対応不能です。無所属の議員(隠れ自民党は別ですが)で、例えば国道の改良、改善はどういう手づるで成果を挙げることができるのでしょうか。国道の改良、改善には国土交通省という国の機関と信号機の管理をしている千葉県の機関である千葉県警察本部があります。無所属の市議会議員ではこれらの機関に話しを持ちこんでも相当に困難です。はっきり言って一匹狼では無理です。市民要望は実現しません。国会議員、県議会議員を持つ市議会議員が力を発揮できます。

⑤市民の声に耳を傾け、市民に分かり易く説明し、市民の思いを実現すべく行動する、というような「市民に寄り添う」という姿勢が重要だと考えております。より多くの「市民に寄り添う」ために、何か行動される予定があれば教えて下さい。

1. 継続的な駅頭・街頭での市政報告活動・・・1期期間中に街頭活動450回を超し、その間、市民から多数、多様な生の声を聴くことができました。この活動により、より政策を高度化できると確信しています。
2. 衆議院議員 生方幸夫さんや千葉県議会議員 湯浅和子さんの国政・県政報告会と併わせた市政報告会の継続的な開催
3. SNSを活用した活動報告活動
4. 市政報告リーフレットの継続的な発行

⑥市議会議員に必要な能力はなんだと思いますか。それをこれからの活動にどう生かしていくかと併せてお答えください。

政策立案能力と実行能力です。

また、市政は国政・県政に密接に関わっていますので、国会議員・県議会議員を抱える政党に所属する市議会議員が市民に貢献できます。無所属議員は、一見フリーで政党の拘束を受けないから市民に貢献できると宣伝している無所属議員がいますが、国、県にかかわる問題の解決をどうするのでしょうか。実例として私は国道6号の北松戸駅前交差点に右折レーンと右折青矢信号を設置し交差点改良を実現させました。これは国会議員、県議会議員との連携プレーで実現したものです。無所属議員では活動分野が限定されます。

※なお、関根ジローは、北川正恭 早稲田大学院教授が審査委員長を務める第8回マニフェスト大賞において「優秀政策提言賞」を受賞しています。

2. 次に、議員観・議会観についてお伺いします。

①松戸市議会議員の適正人数は何人とお考えですか。理由と併せてお答えください。

関根ジローは、平成26年9月議会において、4名減の議員定数削減議案に賛成しています。

②「議員報酬は議会での拘束時間等、議員活動を実際に行った時間×時給にしてはどうか」という議論がありますが、いかがお考えですか。

賛成です。

③委員会前に会派で賛否を決めていることで、議会での議論が建前になっているように感じます。議会をより建設的な場にするため、委員会前に会派で賛否を決めることを止め、委員会での議論を基に会派の合意形成を図るようにして欲しいと考えております。如何ですか？

当選した議員は政党所属議員であれば、その政党で会派をつくり、また無所属議員であれば考え方の近い議員が集まり会派をつくるのが一般的です。関根ジローは民主党公認であり、民主党としての会派または考え方の近い議員と共同して会派をつくります。会派があるから議論が建前になっていて建設的ではないという議論ではなく、むしろ、会派が決めた議案に対する賛否の態度が市民に公開されていないことが問題であると思います。その賛否の態度が明らかになっていないことで、市民の批判の対象とらない不正常的な状態を正していく必要があります。そうすれば市民の批判を浴びる賛否態度はとれなくなる可能性があります。

④建設的ではがらみのない議論を行うため、会派制を廃止する議会も現れていますが、「会派制の廃止」について、いかがお考えですか。

「会派制の廃止」をうたっても、それはそれこそ建前でしかなくなると思います。会派としての議案に対する賛否態度、議員個人としての賛否態度を公開することで、市民、有権者から信頼を得られない会派や議員個人が淘汰されて、信頼を得る議員が残っていくということになると思います。

⑤議案に対する個々の賛否について、記録に残す、または公開することへのお考えをお聞かせください。

当然のことであり、賛成です。そもそも選挙により市民、有権者から信頼を得て当選した議員が、議案に対する個々の賛否を記録に残さずに、また公開もしないということは民主主義の根幹にかかわる問題であると思います。

⑥委員会についても、本会議同様にインターネットおよび録画中継を行ったり、議会運営委員会を含むすべての委員会を傍聴可能にすることについて、是非をお聞かせください。

すべての委員会についてインターネットおよび録画中継を行い、そして傍聴可能とすべきであり、主権者である有権者が今何が問題で、個々の会派、個々の議員がどういう賛否態度でるか確かめることができることが議会政治の基本的な前提であると考えており、賛成です。

⑦議員を客観的に評価するしくみについて、アイデアや先進事例があればお聞かせください。

マニフェスト大賞などの第三者機関による議員を客観的に評価する取り組みがさらに広まることを願っています。

3. 次に、市政をとりまく環境や個別の政策課題への考えをお伺いします。

①経済的・家庭的な理由等により、望んだ進学ができない子どもを減らし、平等にチャンスを与えられるような環境が求められていると考えますが、具体的な方策があればお聞かせください。

・今の政府は過去最大幅の生活保護基準の引き下げを行いました。さらに、それに連動して個人住民税の非課税基準が引き下げられれば、子どもの貧困拡大が懸念されます。そのため、民主党が提唱して成立した「子どもの貧困対策法」に基づき、社会保障や学習支援、

保護者の就労支援、高校生や大学生の奨学金などを充実させ、子どもの貧困を解消し、「貧困の世代間連鎖」を断ち切ります。

・経済的に困窮している人や社会的に孤立している人の生活支援を拡充するため、求職者支援制度の活用、ハローワークや自治体のさまざまな相談機能の縦割りの解消、NPO等との連携により、社会復帰、早期就労や住居確保、学習支援など、自立支援を充実させます。

・家庭の状況にかかわらず、すべての意志ある高校生などが安心して勉学に打ち込める環境を維持するため、民主党政権で導入した高校無償化制度を継続します。高校の無償化は国際的な常識であり、ほとんどの先進国では所得にかかわらず授業料を徴収していません。自公政権が進める所得制限の導入は、制度の理念を大きく後退させるものであり、反対します。

②児童・生徒の学習習熟度により教員を評価する制度を設け、意欲的な指導の一助とする策について、お考えをお聞かせください。

現在各学校で実施している学校評価を開かれた学校づくりの視点から有効に機能させていくことが大切です。

③保育園を選ぶための客観的指標として、利用者・第三者評価の制度を設けることについて、お考えをお聞かせください。

推進すべきです。

④より障害者が暮らしやすいまちを実現するため、提案される施策があれば教えてください。

・障がいのある人のニーズを踏まえ、障がい者施策を着実に進めます。障害者総合支援法の附則を踏まえ、障害種別や程度、年齢、性別を問わず、難病患者も含めて、家族介護だけに頼らずに、安心して地域で自立した生活ができるよう、仕組みづくりや基盤整備、人材育成に取り組みます。精神疾患による患者やその家族への支援を充実します。政策の推進にあたっては、当事者の声に引き続き耳を傾け、ともに議論しながら進めます。

関根ジローが今取り組んでいる具体的な施策です。

- (1) テレビ電話を活用した代理電話サービスの導入
- (2) 日本オストミー協会が推奨する可動式オストメイトトイレの普及・充実
- (3) 多機能トイレの機能分散
- (4) 避難場所に想定されている公共施設トイレの洋式化（バリアフリー化）
- (5) ノンステップバスの導入促進
- (6) 発達障害支援

⑤ノーマライゼーションについてお考えをお聞かせください。例を挙げると、色覚障害者にとっては赤色チョークの板書や、ピンク色の看板が見づらい等、聴覚障害者にとっては災害時避難所での情報提供が音声のみで行われるということに不便を感じる等、障害者本人でしか気づき得ない生活上の支障があります。

私の政治信条でもあり、民主党綱領に掲げてある「一人一人がかけがえのない個人として尊重され、多様性を認めつつ互いに支え合い、すべての人に居場所と出番がある、強くてしなやかな共に生きる社会をつくりたい。」という文言はノーマライゼーションの考え方を含むものです。わたしが具体的に展開している耳の不自由な方々、オストミーの方々への具体的な政策などは、この綱領の具現化の一部です。

⑥松戸市は周辺市よりも生活保護受給者数・保護費ともに高い水準にあります。この水準についての是非と、今後の方針についてのお考えをお聞かせください。

- ・真に支援が必要な人に適切に生活保護の認定を行う一方で、不正受給を防止し、医療扶助に関する電子レセプト点検の強化や後発医薬品使用の促進など適正化を進めます。

- ・現在行われていない受給要件の再確認を一定期間ごとに行い、また不正受給への罰則を強化します。

- ・生活保護基準引き下げについては、生活保護世帯のみならず、多くの低所得者が負担増となることが懸念されるため、その影響や実態把握を行い、さらなる生活苦に陥らないよう見直しを求めます。

⑦少子高齢化への対策として、提案される施策があれば教えてください。また「無駄を削減する」以外の財源確保についてもご提案ください。

1. 少子高齢化対策

- ・妊婦健診の公的助成を含め、出産にかかる費用を助成し、自己負担がほぼないようにします。不妊治療に関する支援をさらに拡充します。

- ・子育て支援の予算を増額して、子育てを直接支援する新児童手当と合わせて、保育所・認定こども園・放課後児童クラブなどを通じたサービス、育児と仕事の両立ができる支援を充実させます。

- ・待機児童の解消をめざし、就学前の子供の教育と保育を保障します。保育・幼児教育の負担軽減について検討します。

- ・保育所定員の増員、待機児童の解消、放課後児童クラブの整備を積極的に行うほか、職員の配置基準の改善など、質の高い幼児教育・保育等を実現するため、保護者や地域の実情に応じて計画を立て、着実に進めます。

- ・保護者の就業形態にかかわらず、安心して子どもを通わせることができるよう、幼保連携型認定こども園や小規模保育などへの給付制度を着実に実施します。

- ・病児・病後児保育など多様な保育の提供に取り組みます。

- ・就学前の様々な保育施設についても、段階的に支援対象を拡大します。

2. 財源確保について

(1) 今や私のライフワークである「学校トイレの洋式化」が、まさに財源確保政策です。

これまでに松戸市は平成23年時点で23%だった洋式化率を、平成27年までに43%まで向上させることを明らかにしていますが、これにより年間「水道料金が2,244万円削減」されます。今後、洋式化率をさらに推進することにより、さらに水道料金削減が見込めます。

(2) 選挙カーを利用しないことも松戸市財政に寄与することが出来ます。具体的に言うと、あの騒音、渋滞の原因になる選挙カーには、運転手代やガソリン代など合わせて、候補者一人当たり約20万円の税金が使われています。例えば70人近くが立候補する松戸市では1,400万円近い税金が選挙カーに使われていますが、多くの市民はその実態を知りません。住民の理解を得られない選挙カーへの税金投入を自粛するとともに、時代に合った選挙運動を目指しています。変わらなきゃ！選挙スタイル。なお、「NO！選挙カー」運動は、北川正恭 早大教授が審査員長を務める第6回マニフェスト

大賞にて優秀政策提言賞を受賞しています。（関根ジローは4年前に初当選した松戸市議会選挙から「NO！選挙カー」です）

⑧「すぐやる課」について、今後の方針と併せて、存続の是非をお答えください。

存続すべきです。

⑨市立病院の経営を改善するための方策があればご提案ください。

市立病院の経営について、先般、議会で討論を実施しました。詳細は⇒<http://ameblo.jp/sekine-jiro/entry-11941764906.html>

⑩市内で起業家が活躍するための方策があればご提案ください。

・地域雇用の基盤である中小企業、農林水産業を支え、育てるため、取り巻く環境に配慮しつつ、支援・育成する税制について幅広い角度から検討し、強化・改善します。

・税制、立地支援、規制の見直しなどの見直しにより、空洞化対策や中小企業を含めて企業が活動しやすい環境を整備します。

・中小企業に係る税制（事業承継、印紙税、交際費課税など）を強化・改善し、中小企業をしっかりと支援します。

⑪市内の商業圏の充実について、近隣自治体のように大型ショッピングモールを誘致するなどの大規模な方策を取るべきか、それとも他の方法によって充実を図るべきか、現状の維持を図るべきか、方策をご提案ください。

商業施設を誘致しつつ、既存商店街の振興策を展開すべきです。

⑫松戸市に住民投票条例は必要だとお考えですか？理由も併せてお答えください。また、必要だとお考えの方は、具体的にどういった内容にすべきか、お聞かせください。

必要です。関根ジローは松戸市が平成25年9月定例会に提出した松戸市住民投票条例に賛成しています。

4. さいごに、松戸市についての思いをお伺いします。

① 松戸市の一番の魅力はなんだと思いますか。

都心から近く、自然が豊かであるところが魅力だと思います。

②中長期的に見て、松戸市政における最も大きな課題はなんだと思いますか。解決策の提案と併せてお答えください。

少子高齢化や人口減少が課題です。これらの課題を解決していくために、再選されましたら、近隣市との合併による「政令指定都市 東葛市構想」を市民の皆様に提案していきたいと思います。